

湘南工科大学附属高等学校

令和六年度 入学試験問題

国語

マーク上の注意事項

- 1 HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 答えを直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例		悪い例	
		 線	 小さい
 丸囲み	 レ点	 はみ出し	 うすい

一 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。（作問の都合上、本文を改めたところがあります。）

社会科学は、他者についての研究であり、研究のテーマが病や障害を持った人であったり、弱い立場に置かれた人、社会から排除されないがしろにされている人であることがある。その場合、研究者というマジヨリティ側の強者が、傷ついたマイノリティを研究するという構図となる。このとき研究者が、研究対象となる人々に（学問にもとづいた装いをするがゆえに一見するとともにもらしい「客観」という）^Aレッテルを貼ることがめずらしくない。

a、搾取され差別された少数民族（日本ではアイヌや沖縄の出自を持つ人々）に対し、マジヨリティ出身の研究者が考古学や歴史学の概念で考察する。一見してニユートラルな概念だったらいではないかと思う人がいるかもしれないが、当事者の意向を無視してイメージを外から当てはめることは暴力・消費となりうる。多くの社会科学は、客観性を重視するがゆえに、困難の当事者に外部からのラベルを貼って説明する。そうした外部からの概念を当てはめることは、当事者の経験をゆがめることになりうる。

^B他者について言及しながら、他者に対して侵害にならないような言葉はどのようなものだろうか。これは非常に難しい問いである。「共感すれば良い」という人がいるかもしれないが、共感はそのなに簡単なものではない。感情移入は単なる思い込みかもしれない。相手の意図をゆがめ、カタルシス^{注4}を手にすることで相手を消費してしまうことがある。共感^{注2}は語り手の経験を色眼鏡で見てゆがめうるのである。では、どうすればよいのだろうか。

他者を研究しつつ尊重するためには、次のような条件を満たす必要がある。

（１）語り手の言葉を、繰り返しや言い間違いなども含めて可能な限り尊重して採録する。そうすることでその人の身体性・個別性が保存される。

（２）語られた文脈を重視するため、ただ一人の人の語りを大きく引用しながら論文化する（複数の人の語りを断片的にトピッ

クごとにまとめて引用することをしない。

(3) 語りのディテール^{注5}を尊重した分析を行う（外部からの理論や概念図式から借りた説明をあてはめない）。

(4) 分析する研究者自身がどのような社会的立場に立ち、語り手とどのような関係に立つのか吟味する。

この四つの条件を満たす方法はいくつかあるだろうが、現象学^{注6}もその一つである。

一本の論文を一人の人の語りの分析だけで記述するときには、その人がどのような経験をしてきたのかの「かたち」が、語り手の視点から描かれた世界とともに際立ってくる。このような記述と分析に成功したときには、別の概念を加えてゆがめることや、思い込みの共感でゆがめることを可能な限り避けられる。他者表象がもつ暴力性のある程度避けることができる。

ただし、このことは両刃の剣でもある。個人情報が消してあったとしても、その人の生き方のスタイルを赤裸々にあぶり出すので、語りを尊重すること自体が侵襲的になるリスクがある。

読んで頂き許可を得たあとに分析を公表するようにしている。

他者の言葉と経験を尊重すること、そして他者を尊重する態度を尊重すること（つまり **I** こと）、このことは根本的な倫理的態度となる。現象学的な態度は根本において倫理へと導かれるのだ。

一人ひとりの視点から見た世界を尊重する記述の到達点は、個別の経験をその構造や背景とともに描き出すことである。

c、一人ひとりの経験は質的に異なるので、比較し得ない部分を必ず持つ。そしてこの独自の部分こそ聞き手や読者を触発する。

ちょうど、ヤングケアラーを経験した女性へのインタビューのなかにそのことを的確に表現してくれた言葉があったので引用したい。サクラさんは母子家庭の一人っ子として育ち、うつ病で過量服薬の自殺未遂を繰り返す母親のケアを、小学生時代から続けていた。中学生のときに母親が精神科に入院したため西成^{注7}のこどもの里に滞在することになり、困難を抱えた他の子どもたちと出会う。そのなかにはA^{注8}さんやショウタ^{注9}さんもいたが、幼少時から親から離れてこどもの里で育った少女や、自宅

への放火で自分の親ときようだいを死なせた少女が登場する。

サクラさん

「子どもの」里に来て初めて知ったんですよ。自分と同じ、別の境遇だけど同じような苦しみを味わっている人。苦しさに誰のほうが大変とか、誰のほうがしんどい「とか」、絶対ないんです。それはだって、お買い物に毎日行かされるのが苦しい子もいるわけじゃないですか。私からしたら、『お買い物ぐらい毎日、一人で行ってよ』って思ったとしても、それはその子にとったら、『なんで自分だけ』って思っていることかもしれないから、同じ苦しみなんですよ。

「苦しさに誰のほうが大変とか、誰のほうがしんどい「とか」、絶対ないんです」。ヤングケアラーの誰の経験が深刻で、誰の経験はましだ、というような比較はなりたたない。誰もがそれぞれの困難と、それぞれの状況へと応対する力を持っているということをサクラさんは経験のなかから直観している。子どもたちの経験はそれぞれの重みを持つ。この重みを尊重するためにはそれぞれの経験を丁寧に聴き取り、描き出すしかない。

(中略)

統計学的な平均値や多数項として取り出された一般性は普遍的なものではない。^{注9} ナチスに追い詰められた果てにスペイン国境で自死したドイツの思想家ヴァルター・ベンヤミン（一八九二—一九四〇）は次のように書いている。

普遍的なものを平均的なものとして説明しようとするのは、

II

である。理念こそが普遍的なものなのだ。これに

対して経験的なものは、それが極端なものとしてより精確に識別できるものであればあるほど、それだけ深く、その核心に迫りうるものとなる。概念は、この極端なものに由来する。

ベンヤミンは、平均によって得られる科学的な一般性とは異なる場所に普遍と理念があると考ええる。個別性を追求したはての極限に概念があるという。

現代社会において普遍性は、論理的な必然性か、測定の正確さか、もしくは統計によって得られると考えられている。これらの帰結は、多数のサンプルを集めてきたなかの平均値や傾向性である。「普遍性 universality」は語源からしてすべてに当てはまるということだろうから、すべてではなく大多数のサンプルに共通するものは、「一般性」「妥当性」と呼んだほうがよい。いずれにしても多数のサンプルと一般性とが結びつくときには、一人ひとりの経験が意味を持つ余地はなくなる。

個別の経験は、真理から切り離されているのだろうか。多数のなかの共通項や平均値とは異なるタイプの真理があるのではないだろうか。私は医療福祉現場で長年にわたって調査を行ってきた、実は経験の個性がもつ真理は、他の誰にとっても真理であるのではないか、と感じている。弱い立場へと追いやられた人の経験はつねに意味を持って響いてくるからだ。ベンヤミンのいう「極端なものに由来する」「概念」は、倫理的な方向性を指し示している。つまり個別の経験が生む Y が、誰にとっても意味がある共通の「理念」として、倫理的な普遍を指し示すのだ。

この倫理的な普遍は Z と呼ばれるものと重なることになる。個別的経験を尊重することは、あらゆる人を尊重することを意味する。誰も取り残されない世界を目指すということにつながるのだ。

（村上靖彦『客観性の落とし穴』）

注2 マイノリティ

…少数派。

注3 ニュートラル

…どちらにも属さないこと。中立。

注4 カタルシス

…心の中のネガティブな感情を浄化すること。

注5 デイテール

…全体の中の細部。詳細。

注6 現象学

…事物の本質そのものを問うのではなく、それがわれわれの経験にとって現われてくる状態を扱う学問。

注7 西成

…大阪府にある地名。

注8 Aさんやショウタさん

…筆者が社会的な困難の当事者としてインタビューした人物。

注9 ナチス

…ヒトラーを党首とした国民社会主義ドイツ労働者党の通称。

問一 空欄

a

〜

c

に入れる語として最も適するものをそれぞれ選び、マークしなさい。ただし、同じ語が二カ所に入ることはありません。

- 1 また 2 例えば 3 それゆえに

問二 傍線部A「レッテルを貼る」とありますが、どういうことですか。次の中から最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 研究対象者の中でも弱い立場にある人に、救いの手を差しのべること。
- 2 研究対象者を学問的概念で考察し、個人個人の価値を尊重すること。
- 3 研究対象者の思いを考えずに、外部からの概念を当てはめること。
- 4 研究対象者の意向を尊重して、客観的な概念を当てはめること。

問三 傍線部B「他者について言及しながら、他者に対して侵害にならないような言葉」とありますが、そのような言葉にするためにはどうすれば良いですか。次の中から最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 語り手に共感して感情移入しようとする。
- 2 多くの人の語りを引用して比較する。
- 3 外部からの理論を借りつつ詳細に分析する。
- 4 できるだけ語り手の言葉をゆがめずに採録する。

問四 傍線部C「このことは両刃の剣でもあります」がありますが、どういうことですか。次の中から最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 一本の論文を、一人の語りの分析だけで成り立たせることで、当事者の経験がゆがめられることを避けられるが、その人の個人的な面を表に出すことにもなるということ。
- 2 一本の論文を、一人の語りの分析だけで成り立たせることは、他者表象がもつ暴力を避けることにつながるが、その筆者にも暴力が及ぶことになるということ。
- 3 一本の論文を、ある個人の記述と分析だけで成り立たせることは、別の概念や思い込みが入り込む余地がないので、社会的な信頼性に欠けるものになるということ。
- 4 一本の論文を、ある個人の記述と分析だけで成り立たせることは、当事者の思い込みで事実がゆがめられることになり、その人の生き方にも影響を与えてしまうということ。

問五 空欄 I に入れる文として最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 他者に共感できる
- 2 他者への暴力を許さない
- 3 他者を分析しようとする
- 4 他者と自分を比較する

問六 傍線部 D「そのこと」とありますが、どのようなことを指していますか。次の中から最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 人はそれぞれ異なる経験をしており、その人だけが持っている部分があるため、聞き手の感情に訴えかけるものがあるということ。
- 2 人はそれぞれ異なる経験をしており、独特な感覚を持っているので、聞き手が他の人と比較しながら考える必要があるということ。
- 3 人は皆、同じような経験をしており、個性を理解することは難しいため、聞き手の心を揺さぶるものはほとんどないということ。
- 4 社会的に厳しい環境で育ってきた子供は皆、同じような経験をしているので、個性を失っているけれども、聞き手の感情を触発するということ。

問七 傍線部E「統計学的な平均値や多数項として取り出された一般性は普遍的なものではない」とありますが、なぜですか。

次の中から最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 極端な経験に迫った物の中には普遍性はなく、全体的なものを踏まえた結果として概念が得られると考えるから。
- 2 論理的に測定した物の中には普遍性はなく、概念はそのサンプルの数によってのみ得られると考えるから。
- 3 共通項を集積した物の中には普遍性はなく、個別性を追求した結果として概念が得られると考えるから。
- 4 多数のサンプルから得られた数値には一般性がなく、個人の経験を平均化したところに概念はあると考えるから。

問八 空欄Ⅱに入れる四字熟語として最も適するものを選び、マークしなさい。

- 1 千差万別 2 大同小異 3 一石二鳥 4 本末転倒

問九 空欄Y・Zに入れる語として最も適するものの組み合わせを選び、マークしなさい。

- 1 Y「人権」 Z「平均」
- 2 Y「概念」 Z「人権」
- 3 Y「理念」 Z「核心」
- 4 Y「平均」 Z「科学」

問十 次の各文のうち、本文の内容に合うものには1を、合わないものには2をそれぞれマークしなさい。

- A ヴァルター・ベンヤミンは、個別性を追求し続けると科学的な一般性が得られると述べている。
- B 他者を研究しつつ尊重するための考え方として、分析する研究者は語り手の言い間違いなどを、ゆがめずにそのまま記録

する努力をするが良い。

C 社会科学においてマイノリティ側の研究を行う際に、客観性を持つて接することができれば、自由に外の概念を研究対象に当てはめて良い。

D 他者に対して共感したり感情移入しようとしたりすることは、自分がカタルシスを得て相手のことをないがしろにするこ
とにつながる可能性がある。

E 医療福祉現場では、大多数のサンプルがあるため、弱い立場に置かれた人の経験の平均値が重要な意味を持つ。

二次の文章を読んで、後の間に答えなさい。（作問の都合上、本文を改めたところがあります。）

今は昔、この四五年ばかりのほどのことなるべし、人のもとに宮仕へしてある生侍^{注1}ありけり。することのなきままに、清水^{注2}に人真似^{まね}して、千度詣で二度ぞしたりける。其後^{そのち}いくばくもなく、主のもとにありける同じやうなる侍と、双六^{注3}を打ちあひにけり。多く負けて、渡すべき物なかりけるを、いたく責め^あければ、思ひわびて、「我が持たる物なし。ただ今貯へたる物とは、清水に二千度参りたることのみなんある。それを渡さん。」と言ひければ、かたはらにて聞く人々は、「うち謀るなり。」と、^{注4}をこに思ひて笑ひけるを、このうち敵の侍、「いとよきことなり。渡さば得ん。」と言ひければ、この負け侍、「さは、渡す。」と、ほほゑみて言ひければ、「いな、かくては受け取らじ。三日して、このよし申して、おのれに渡すよしの文書きて渡さばこそ、受け取らめ。」と言ひければ、「よきことなり。」とちぎ^Eりて、その日より精進して、三日といひける日、「さは、いざ清水へ。」^dと言ひければ、この負け侍、「^{注5}をこの痴^ちれ者に会ふたり」と思ひて、喜びて参りにけり。言ひけるままに文書きて、御前^{注6}にて、師の僧呼びて、事^{こと}のよし申させて、「二千度参りつること、それがしに双六に打ち入れつ。」と書いて、取らせたりければ、受け取り^e、喜びて、伏し拝みて、まかり出でにけり。

その後、いく程もなくして、この打ち入れたる侍、思ひがけぬことにて捕へられて、^{注8}獄^{ごく}にゐにけり。打ち取りたる侍は、思ひがけぬたよりある妻まうけて、いとよく徳つきて、^{注9}司^{つかさど}などなりて、楽しくてぞ有りける。「^{注10}なれども、まことの心^Gをいたして受け取りたりければ、仏、あはれとおぼしめしたりけるなめり。」とぞ人言ふなる。このある人のことなり。

〔古本説話集〕

注1 生侍 …年若く、身分の低い侍。

注2 清水 …清水寺。

注3 双六 …サイコロを振って、出た目に従ってマス目にある駒を進めて上がりに近づける盤上遊戯。

注4 をここに …愚かに。

注5 痴れ者 …愚かな者。

注6 御前にて …清水寺のご本尊様の前で。

注7 事のよし …事のいきさつ。

注8 獄 …ろうや。

注9 司 …役人。

問一 波線部 a 「責めければ」、b 「笑ひける」、c 「言ひければ」、d 「言ひければ」、e 「受け取り」の主語として最も適する

ものをそれぞれ次の中から選び、マークしなさい。

- | | | | |
|------|-----------|--------------|-------|
| 1 生侍 | 2 同じやうなる侍 | 3 かたはらにて聞く人々 | 4 師の僧 |
|------|-----------|--------------|-------|

問二 傍線部 A 「いくばくもなくて」の解釈として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- | | |
|------------|-----------------|
| 1 四五年が経過して | 2 生きていくことが出来なくて |
|------------|-----------------|

- | | |
|---------------|-------------|
| 3 それほど経たないうちに | 4 大した稼ぎもなくて |
|---------------|-------------|

問三 傍線部B「同じやうなる侍」とはどのような侍ですか。最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 同じ主人に仕えているが、双六に負けてばかりで渡すものがない年老いた侍。
- 2 同じ主人に仕えているが、いつも双六の相手をしてもらっている若い侍。
- 3 同じ主人に仕えているが、退屈であるので清水寺に二千度参拝をした年老いた侍。
- 4 同じ主人に仕えているが、何もすることが無くて暇を持て余している若い侍。

問四 傍線部C「いな、かくては受け取らじ」の解釈として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 いや、稲穂を付けてもらわなくては受け取ることが出来ないだろう。
- 2 いや、証明すべきものがない状態では受け取るまい。
- 3 いや、このようなものを受け取るとは決してあるまい。
- 4 いや、このまま受け取ってしまうては差支えがあるだろう。

問五 傍線部D「このよし」の内容として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 他者のお墨付きが無ければ受け取るとは出来ないということ。
- 2 双六をして負けてしまい渡すものがなくなってしまったこと。
- 3 清水寺に行き、師の僧にお会いし、高い徳を身につけてくること。
- 4 金品の代わりとして清水寺に二千回参拝したことを渡すということ。

問六 傍線部E「ちぎりて」の解釈として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 約束をして
- 2 破り捨てて
- 3 手紙を書いて
- 4 言い訳をして

問七 傍線部F「をこの痴れ者」とは誰のことを指していますか。次の中から選び、マークしなさい。

- 1 生侍
- 2 同じやうなる侍
- 3 かたはらにて聞く人々
- 4 師の僧

問八 本文中の空欄に当てはまる語を次の中から選び、マークしなさい。

- 1 口に入らぬ
- 2 手に入れられぬ
- 3 手にかからぬ
- 4 目に見えぬ

問九 傍線部G「まことの心をいたして」とありますが、その具体的内容として最も適するものを次の中から選び、マークしなさい。

- 1 貯へたる
- 2 伏し拝みて
- 3 おぼしめしたり
- 4 思ひわびて

問十 次の各文のうち、本文の内容に合うものには1を、合わないものには2をそれぞれマークしなさい。

A 清水寺に二千回参拝したことを渡すと言った侍のことを、それを聞いていた人たちは笑った。

B 清水寺に二千回参拝した侍は相手に言われるがままに証文を書いた。

C 事のいきさつを聞いた清水寺の僧は侍たちの申し出に従って証文を書いた。

D 清水寺に二千回参拝したことを受け取った侍は、その後妻を得て、幸せに暮らした。

E 清水寺に二千回参拝した侍はその功德を仏から与えられた。

三 次の各問に答えなさい。

問一 次の a ～ e の上の句に続く下の句として最も適するものをそれぞれ後から選び、マークしなさい。

- a 向日葵は金の油を身に浴びて
- b 死に近き母に添寝のしんしんと
- c ひさかたの光のどけき春の日に
- d み吉野の山の白雪つもるらし
- e 世の中に絶えて桜のなかりせば

- 1 しづ心なく花の散るらむ
- 2 春の心はのどけからまし
- 3 ゆらりと高し日のちひささよ
- 4 ふるさとさむくなりまさるなり
- 5 遠田のかはづ天に聞ゆる

問二 次の a ～ d の熟語の中にはそれぞれ一つだけ他と異なる構成のものがあります。最も適するものをそれぞれ選び、マークしなさい。

a	1	見物	2	植樹	3	求人	4	注意	5	指示
b	1	停止	2	崩壊	3	屋外	4	永久	5	幸福
c	1	軽傷	2	辛勝	3	温泉	4	黒板	5	送迎
d	1	頭痛	2	雷鳴	3	豊富	4	日没	5	骨折

問三 次の傍線部 a、b、c、d、e の品詞名をそれぞれ後から選び、マークしなさい。

吾輩は猫である。名前はまだない。どこで生れたか頓と見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。吾輩はここで始めて人間というものを見た。しかもあとで聞くとそれは書生という人間中で一番癡悪な種族であったそうだ。この書生というのは時々我々を捕えて煮て食うという話である。しかしその当時は何という考もなかったから別段恐いとも思わなかった。

(夏目漱石『吾輩は猫である』)

1	動詞	2	形容詞	3	形容動詞	4	名詞	5	連体詞
6	副詞	7	接続詞	8	感動詞	9	助詞	10	助動詞

問四 次の a ～ e の文学作品の作者をそれぞれ後から選び、マークしなさい。

a ころろ b 方丈記 c 舞姫 d 若菜集 e よだかの星

1 森鷗外 2 夏目漱石 3 島崎藤村 4 宮沢賢治 5 鴨長明

問五 次の a ～ h の傍線部に相当する漢字を含むものをそれぞれ後から選び、マークしなさい。

a 赤ちゃんがほがらかに笑う。

1 ほうろうの旅に出る。

2 ロウドク会に参加する。

3 一族ロウトウが勢ぞろいする。

b パソコンのコードがカラむ。

1 ミャクラクの無い話をする。

2 地方でラクノウを始める。

3 株価がボウラクする。

c 高級ホテルに家族でトまる。

1 大きなハクシユで迎える。

2 船が港にテイハクする。

3 ハクリヨクのある音。

d 経済学をオサめる。

1 シユウシヨク活動の時期が来た。

2 シユウカクした野菜を洗う。

3 シユウリ費が高つく。

e 意外な恩恵をコウムる。

1 ヒガイ届を提出する。

2 ヒレツな行動を注意する。

3 ヒロウ回復の薬を飲む。

f 肌にウルオイを与える。

1 ジュンタクな資源がある。

2 ルールをジュンシユする。

3 全国をジュンカイする。

g 部活動にカン誘する。

1 空気がカンソウする。

2 脱会をカンコクする。

3 勝利のカンセイが上がる。

h ケン明な判断を下す。

1 ケワしい道のりを進む。

2 家をタてる。

3 カシコいふるまいをする。

